

成人おめでとう



9日の成人の日、約300名がそれぞれの夢や想いを胸に大人の仲間入りをします。

新成人2人に成人を迎えるにあたって、何を考え“大人”への第一歩を踏み出すのかを書きいただきました。



「成人」という節目

白鳥 聖志

ついに20歳を迎えることができました！

思えば長いようで短いようでもあった、この20年間を支えてくれた友人や先生方にも感謝しています。そして、ここまで育ててくれた母に、心を込めて深く感謝の意を申し上げます。

僕の場合、成人してすぐに選挙があったため、案外早く「20歳」を実感することができました。でも、それ以外特に変わったことはありません。相変わらず朝早く起きて学校に行かなければならない日々は続いています。そんな僕も今年で5年間通い続けた高等専門学校を卒業し、4月から社会人として新しいスタートを切ることが決まっています。

成人式の実行委員をやると決めたとき、「どうして20歳という年齢が成人という節目になるのだろう」と考えてみました。学術的に言えば、人間の体の成長が止まり衰退をたどり始めるのが20歳前後であるらしいのですが、古来の中国や日本では、成人とは必ずしも20歳ではなかったそうです。つまり、学術的な問題ではないと考えられます。ということとは、精神的な節目を迎えるということが「成人」という意味なのではないかと考えました。

20歳前後では高校の卒業・大学の入学・短大や専攻の卒業など、社会的な節目があります。しかし、高校を卒業してとりあえず大学に行く人たちがもいれば、せつかく就職率の良い短大や専門学校を卒業しても、安易な就職をしてしまったりもいます。その人たちは、いったいこの「節目」をどうとらえているのでしょうか。単なる行事の一つにしか考えていないのではないのでしょうか。

世の中にはたくさんの方がいます。みんなそれぞれの20年間を歩んできました。今までの自分を褒めてあげたい人や、もっと頑張ろうという決意を抱いている人、それぞれの夢をかかなるために必死で頑張っている人たちがいます。この「節目」に対する思いも、それぞれ違うと思います。

それならば、せつかくの節目なのだから、「どうせ自分なんかダメだ」なんて思わないで、夢を見つめよう。「闇鏡も磨きぬれば玉と見ゆるが如し」という、昔の言葉があります。今はまだ光っていないくても、磨けば必ず光るようになるという意味です。自分たちで何かを見つけて行動を起こせば、必ず「玉」になると僕は思います。たとえそれがこれから一生かかるようなことだとしても、頑張れば必ず実現できると僕は思います。悔しくも成人を迎えること

の出来なかつた友人たちもいます。その友人たちの分も、僕たちが夢に向かって充実した日々を送ろうではありませんか！

僕は形だけの「成人」ではなく、中身の充実した「成人」になりたいです。

成人式を迎えて

玉井 直人

とうとう自分も成人式を迎える歳になった。

正直、大人になったという実感が今一つわかないが、20年の月日が流れたということは確かだ。今、社会に出て働いている人、学校に通っている人、みんなそれぞれ自分の道を進んでいる。僕はこの節目を迎えるにあたって、この20年の楽しかったこと、悲しかったこと、そのすべてを糧にしたこと、その先今まで以上に責任というものを重くとらえ、強く生きていこうと自覚する、そんな時期なのだと思う。

湯河原という町、それは自分が帰るべき場所、当然のようにただいまと言える場所、自宅があつて、散々遊んだ公園があつて、みかん狩りをした畑があつて、走り回った山があつて、幾度となく泳いだ海があつて、大切な家族や友達がいる場所。僕はこの町でたくさんの人に出会い、思い出を授かった。思えば、昔と比べて体も心も何倍にも成長

している。間違いなく、僕はこの町で育つてきた。僕は今年、大学へ通う便を考え東京で暮らすことになる。でも、卒業したら「またここに帰って来たい」と、今心から思える。それは自分が一番安らげる場所、そして自分のふるさとだから。

この先の未来に対する不安は大きい。でも、その分期待も同じくらいある。成人を迎え社会の一員になった今、すべて自分の手で切り拓いていかなければならない。僕は自分の道を偽りの無いものにしていけたら、本当に幸せだと思ふ。

最後に、ここまで育ててくれた父さん、母さん。苦労かけてばかりですが、本当に感謝しています。僕は成人になりました。貴方たちのおかげです。これからも自分なりに頑張るからね。ありがとう！

成人のつどいご案内

【日時】1月8日(日)

受付10:20~・式典11:00~

【会場】観光会館3階大会議室

※式典終了後、記念撮影・抽選会など